様式第九号（第三条関係）

記 載 例

実　務　経　験　証　明　書

下記の者は、　管　　工事に関し、下記のとおり実務の経験を有することに相違ないことを証明します。

令和　　年　　月　　日

秋田県秋田市山王４丁目１番１号
株式会社秋田県庁建設
証　明　者　代表取締役　秋　田　太　郎　印

被証明者との関係　社　員

記

技術者の氏名	男　鹿　六　郎	生年月日	昭和39年2月14日	使用された期間	平成元　年　4　月から 令和元　年　6　月まで
使用者の商号又は名称	株式会社　秋田県庁建設				
職名	実務経験の内容			実務経験年数	
工務課員	○○ホテル空調改修工事（作業員）			１５年　１月から１５年　６月まで	（例①）１件ずつ記載する場合 ↓ 計22月
〃	○○様邸給排水設備リフォーム工事（作業員）			１５年１０月から１５年１１月まで	
〃	○○ビル新築機械設備工事（工程・品質管理）			１５年１１月から１７年　１月まで	
工務課主任	○○ビルテナント衛生設備工事（現場主任）　ほか８件			１７年　１月から１７年１２月まで	（例②）連続する期間をまとめて記載する場合 ↓ 計45月
〃	○○市役所庁舎空調設備修繕工事（現場主任）　ほか15件			１８年　１月から１８年１２月まで	
〃	○○様邸新築機械設備仕上工事（工程・品質管理）　ほか８			１９年　１月から１９年　６月まで	
〃	コンビニ○○店新築設備工事（工程・品質管理）　ほか４件			１９年１０月から１９年１２月まで	
〃	○○小学校大規模改修工事（うち機械設備工事）（現場主任）　ほか11件			２０年　１月から２０年１２月まで	
工務課主任	コンビニ○○店新築設備工事（工程・品質管理）　ほか10件			１９年１０月から２０年　９月まで	（例②-2）連続する期間のまとめ方は暦年単位でなくてもよい
〃	○○小学校大規模改修工事（うち機械設備工事）（現場主任）　ほか11件			２０年１０月から２１年　９月まで	
使用者の証明を得ることができない場合はその理由				合計　満　１０年　６月	

工事の内容、従事した業務・役割が分かるよう記載

前後の工事の始期と終期が同月の場合は二重計算しない

工事に従事していない期間は含めない

連続する期間、複数の建設工事に切れ目なく従事していた場合は、１行につき１年を超えない範囲でまとめて記載してもよい。このとき、「実務経験の内容」の欄には当該期間における代表的な工事１件について名称等を記載し、そのほかの工事については「ほか○件」のように件数のみ記載する。

記載した実務経験年数の合計を記載
３年の場合…36月以上
５年の場合…60月以上
10年の場合…120月以上

記載要領

1　この証明書は、許可を受けようとする建設業に係る建設工事の種類ごとに、被証明者１人について、証明者別に作成すること。
2　「職名」の欄は、被証明者が所属していた部課名等を記載すること。
3　「実務経験の内容」の欄は、従事した主な工事名等を具体的に記載すること。
4　「合計　満　年　月」の欄は、実務経験年数の合計を記載すること。

（注）
実務経験年数は重複しないようにすること。（重複した期間を二重に計算することはできない。）
所要の実務経験年数について１枚に記載しきれない場合は、用紙を追加して必要な実務経験年数に達するまで記載すること。
「使用者の証明を得ることができない場合はその理由」の欄には、会社の解散、事業主の死亡等やむを得ない理由により使用者の証明を得られない場合に、「○○年○月○日会社解散のため」「○○年○月○日事業主死亡のため」等と記載し、実務経験を有することを証し得る代わりの者（元役員等）の証明を受けること。（個人事業主本人が自らの実務経験について証明する場合は不要。）